

白髪一雄記念室 第17回展示

# 白髪一雄 と 尼崎II

— 画家ゆかりの地をめぐる —

2021

4/24(土) — 9/26(日)

〔休館日〕 毎週火曜日 ※ただし5月4日(火)、5月5日(水)は開館、5月6日(木)は閉館

〔開館時間〕 10時～17時(入館は16時30分まで)

〔入場料〕 一般 200円 シニア(65歳以上) 100円 大高生 100円 中学生以下 無料

※ 障がい者手帳等をご持参の方は半額、その介助者の方1名は無料。

※ 「赤松玉女 まなごしのものがたり/A Story of Looking」の会期中(5/8～6/13)は、同展の入場券で白髪一雄記念室もご覧いただけます。

白髪一雄記念室

尼崎市総合文化センター4階  
〒660-0881 尼崎市昭和通2-7-16  
Tel.06-6487-0806



白髪は1924(大正13)年、尼崎市西本町に呉服商・木市呉服店の長男として生まれました。商店街の店舗の2階を自宅兼アトリエとして使い、数多くの作品を生み出しました。白髪の激しいアクション・ペインティングには、幼少期に実家の近くにあった貴布禰神社の夏祭り(通称「けんか祭り」)の記憶が影響しています。また、尼崎市には、白髪が通った学校や風景画に描いた名所など、関連する場所が今も多く残されています。

白髪一雄が生涯の多くを過ごした「尼崎」のまちに焦点を当て、作品や関連資料、そして今も残るゆかりの地を紹介します。



《天傷暴行者》1960年



《尼崎出屋敷と茂川》1948年



《尼崎と茂川夜景》1948年



《天富星輝天壁》1963年

※作品は尼崎市蔵。道具類は個人蔵。  
※図版表:(天傷暴行者)(部分)1960年 / 裏(背表):大日本職業別明細図 尼崎市街図(部分)は、あしがらきアーカイブス提供。



妻・富士子とともに呉服屋2階の自宅兼アトリエで制作する白髪一雄(1960年頃)



アトリエにて使用されていたロープや絵具溶き缶



### 展示解説会

担当学芸員による展示作品の解説を行います。

【日時】5月22日(土)、6月26日(土)、7月24日(土)、8月21日(土)  
いずれも14:00～ 予約不要

【定員】各日10名

【申込み】不要

【参加費】無料(白髪一雄記念室の当日券が必要です。)

### 同時開催

赤松玉女 まなざしのものがたり / A Story of Looking

【会場】美術ホール5階

【会期】5月8日(土)～6月13日(日) ※火曜日休館

【入場料】一般600円 シニア(65歳以上)500円 大学生500円  
高校生以下無料

※同展の入場券をお持ちの方は、白髪一雄記念室にもご入場いただけます。

### 画家・白髪一雄ゆかりの地をめぐる

「ボクの尼崎マップ～昭和初期の尼崎～」を配布します。

このマップは、「2019年度 関西大学地域連携活動に対する補助事業」の助成を受け、関西大学文学部平井研究室と共同制作しました。尼崎に今も残るゆかりの場所を、地図でご覧ください。

### ご来場の皆様へ

ご入館の際はマスクの着用と手指の消毒など、新型コロナウイルス感染拡大防止のためにご協力をお願いします。

### Access



- 阪神尼崎駅より  
立体遊歩道で徒歩約5分(国道2号線沿い)
- JR尼崎駅より  
阪神バス駅南側4番のりば③→  
阪神尼崎行「尼崎総合文化センター」下車
- 阪急塚口駅より  
阪神バス③→「昭通通」下車  
阪急バス⑤、⑧→「尼崎総合文化センター」下車  
※阪神バスは尼崎市内線
- 有料駐車場あり  
(30分200円/1日最大1,200円・普通車)

阪神電車特急で  
「神戸三宮」から  
22分



「大阪梅田」から  
7分

20分

「大阪難波」から

